

技術概要書（様式）

※別紙2

出展技術の分類	安全・防災 インフラDX 維持管理 環境 コスト 品質 （該当分類に○を付記）		
技術名称	道路工事調整システム	担当部署	Smart Infra推進部 SIビジネス部門
NETIS登録番号		担当者	SIビジネス営業担当
社名等	N T T インフラネット株式会社	電話番号	03-5809-1831
技術の概要	1. 技術開発の背景及び契機		
	<p>道路工事調整会議に向けた事前準備には、現状多くの時間と手間がかかっています。道路工事調整会議を開催するには、道路管理者が事前に占有事業者に対して工事計画調書の作成を依頼し、占有事業者は依頼された工事計画調書を作成し、郵送・メールもしくは窓口に直接出向いて道路管理者に提出。その後、道路管理者は、占有事業者から提出された膨大な工事計画調書の確認・とりまとめ作業を実施するという作業が生じています。</p> <p>占有事業者や道路管理者の大きな負担を軽減できるよう、占有事業者が工事計画情報をシステムに登録することで、道路管理者がとりまとめることなく、各者の工事計画情報を一元的に管理できるシステムを開発しました。</p>		
	2. 技術の内容		
	<p>道路工事調整会議のデジタル化（ペーパーレス化、オンライン化）を実現するシステムになります。これまでメール、郵送、FAXで行っていた作業をオンライン上で実施可能とします。</p> <p>【占有事業者様向け】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事計画情報をWEB上のGISに作成し、作成したポリゴン上に各種属性情報を投入可能 ・各占有事業者が投入した工事計画情報と他社工事計画情報のマッチング処理が可能になり、場所や施工時期等が近いものについてはシステム内で抽出可能（自社工事計画情報と他社工事計画情報の重複部分） <p>【道路管理者様向け】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各占有事業者が投入した全ての工事計画情報からマッチング箇所を抽出できるので、工事調整箇所を明瞭に把握可能 ・工事計画情報をシステムから一覧形式で出力する事が出来るため、各社の工事計画リストの作成が容易 		
	3. 技術の効果		
<p>導入される道路管理者様の稼働削減を図るとともに、占有事業者間の柔軟な工事調整（任意のタイミングで調整）を可能として、道路工事の縮減などが可能となり、社会全体のコスト削減に繋がります。さらに、工事調整不要の保全工事も登録や他社とのマッチングを行うことで、工事時期の最適化が図れます。</p>			
4. 技術の適用範囲	道路工事調整を必要とする道路管理者様、道路工事担当者様並びに占有事業者様		
	<ul style="list-style-type: none"> ・道路管理者様：システムへのデータ投入依頼 ・道路工事担当者様並びに占有事業者様：システムへのデータ投入 ・道路工事調整会議に参加するすべての事業者様：会議のオンライン化、調整結果の最新情報の共有化 		
5. 活用実績	<p>道路管理者様 導入実績</p> <p>東海：1行政 【複数の自治体様で検証計画および効果検証中】</p>		

道路管理者
占用事業者
の皆様へ

道路工事調整業務の **デジタル化** 調整効率化を実現!

道路工事調整システム

道路工事調整システムとは?

道路工事調整会議のデジタル化(ペーパーレス化、オンライン化)システムです。これまでメール、郵送、FAXで行っていた作業をオンラインで行えるようになりました。



これまでの道路工事調整会議のやり方を変えてみませんか?



ペーパーレス

用紙と事前準備の省力化



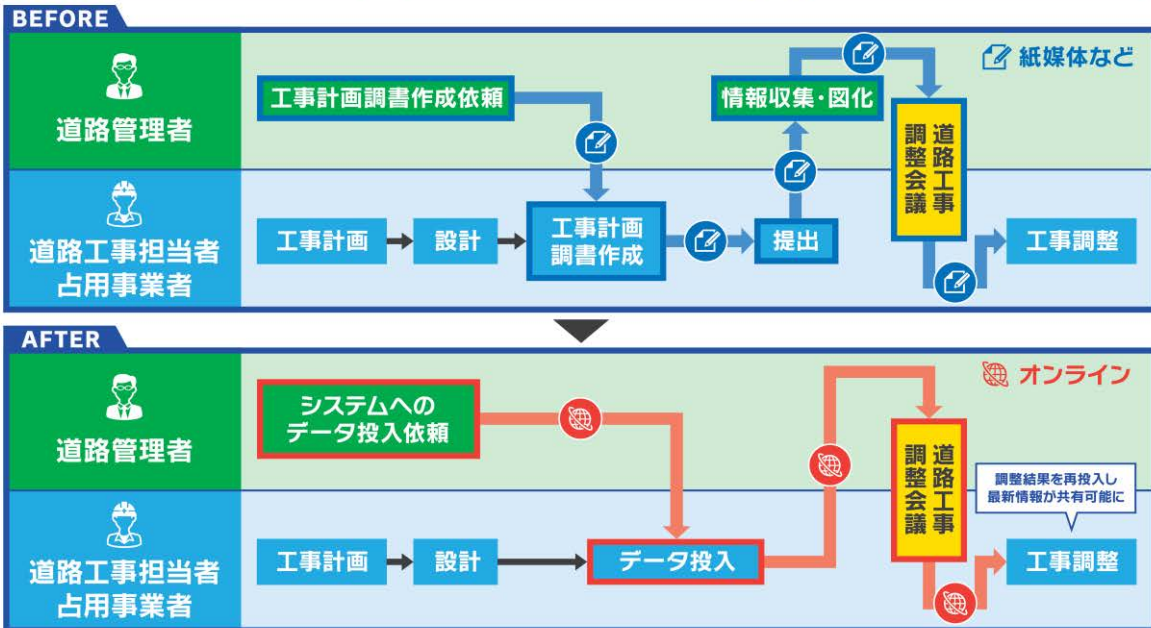
シェアリングPF

各社工事計画情報の一元管理



オペレーション

工事重複箇所のマッチング



※システム画面を直接閲覧することで紙資料印刷コスト削減(紙資料の電子化枚数も削減)